

取扱説明書

住宅用照明器具（ダウンライト）

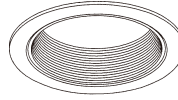
保管用

施工説明付き

品番 HEA1730E
HEA1733E



HEA1734E
HEA1739E



お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。（下記は図記号の一例です。）



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店
または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。



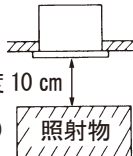
必ず守る

- ランプは器具表示のものを使用する
間違った種類、ワット数のランプを使用すると、
火災のおそれがあります。



必ず守る

- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具
などの可燃物が近づかないように注意する
守らないと、照射物の変色、
火災のおそれがあります。



照射物近接限度 10 cm
(ドア・家具・布等の可燃物)



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれ
があります。



注意

- 照明器具には寿命があります。
設置して 10 年経つと、外観に異常が
なくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けると
まれに火災、感電、落下などに
至る場合があります。



必ず守る

- ◎ 1 年に 1 回は別紙安全チェックシート
に基づき自主点検してください。

- ランプ交換、お手入れの際は電源を切る
通電状態で行うと、感電の原因となる
ことがあります。

- 器具の取り外しは販売店、工事店に
依頼する
器具の取り外しには資格が必要です。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺に
さわらない
やけどの原因となることがあります。

- ◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプや
その周辺が冷めてから行ってください。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に
置かない
火災の原因となることがあります。

- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■天井

- 次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ・ 強度のない薄い天井面
- ・ 傾斜角 55 度を超える天井面



禁止

◎ この器具は天井面埋め込み専用です。

- ブローイング工法、特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない
過熱して火災のおそれがあります。

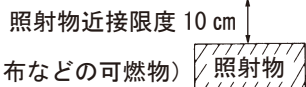
日本照明工業会・SGI・SG形適合品
マット敷工法 ブローイング工法



必ず守る

- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける

守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。



(ドア・家具・布などの可燃物)



必ず守る

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



◎ 販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

■その他

- 器具の取り付けは、説明書に従い
確実に行う
取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- 交流 100 ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

- 電源線は端子台の差込穴の奥まで
確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。



禁止

- 屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に
接触させない
火災のおそれがあります。

注意



必ず守る

- ロックウールなどのやわらかい天井に取り付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材(鉄板、木片など)を入れる
補強材なしの場合、落下の原因となることがあります。

◎ 石こうボード(9mm)は、補強材なしで取り付けできます。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎ この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものの上に取り付け
ない
火災の原因となることがあります。
◎ レンジなど温度の高くなるものの上に取り付け
ないでください。

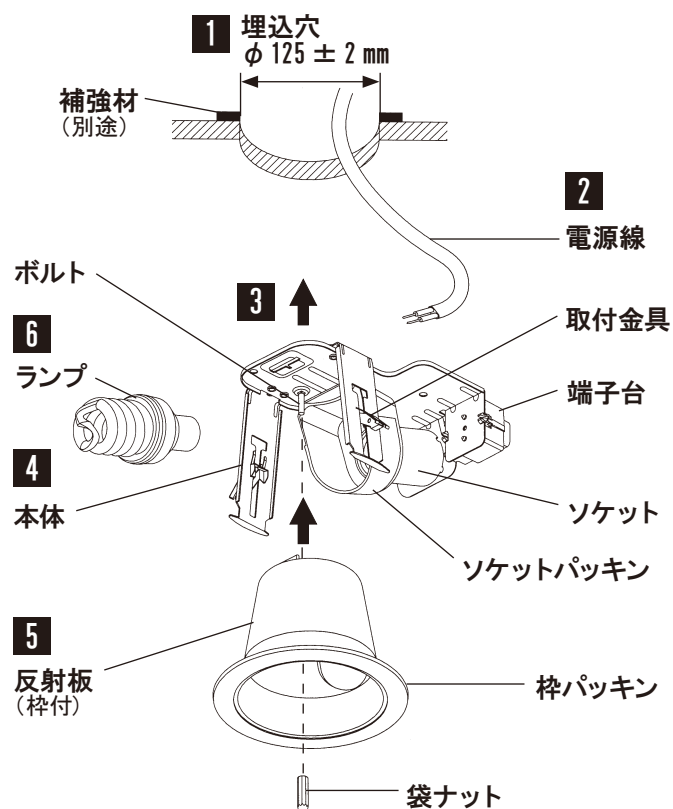
各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

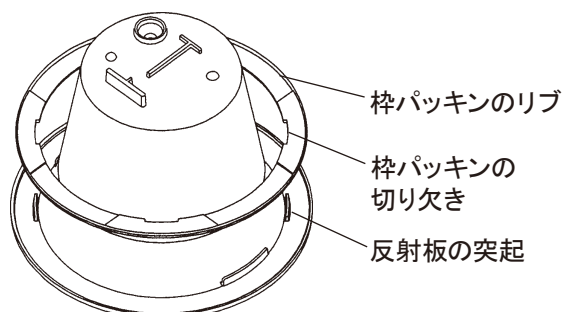
取り付け前のご注意

- ・珪酸カルシウム板の天井に取り付ける場合は、取付金具の固定状態によって、天井と器具の間に隙間ができ、光モレや気密性が損なわれるおそれがありますので、取付金具と天井の間に補助材（鉄板、木片など）を入れてください。
- ・表面に1mm以上の凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれるおそれがありますので、平面に仕上げてください。

●取り付けの前に下図の状態にしてください。



枠パッキンが外れていた場合



- ・枠パッキンのリブが上向きになるように、枠パッキンの切り欠きと反射板の突起（2カ所）の位置を合わせてはめ込んでください。

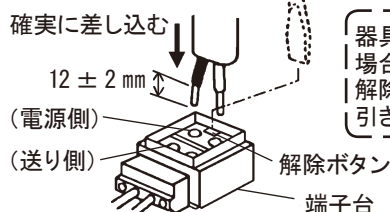
1 天井に埋込穴をあける

- ・厚さ3～25mmの天井に取り付ける。

2 端子台に電源線を接続する

- ・送り総容量は4A以下です。
- ・壁スイッチ1個当たり8台まででご使用ください。

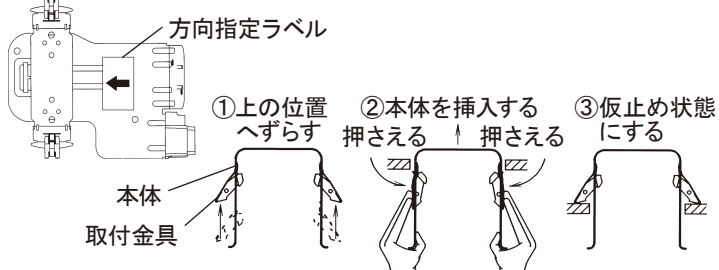
適合電線： $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$ 単線
VVVFケーブル



器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等で解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。

3 本体を埋込穴に入れる

- ・傾斜天井の場合（0～55度）は、方向指定ラベルに従い、矢印方向を天井の高い方に向ける。



4 天井に本体を固定する

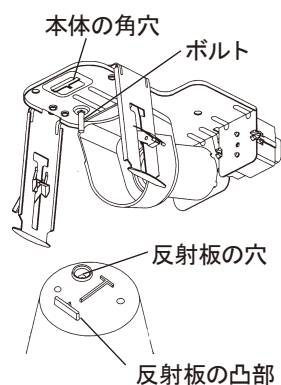
- ・取付金具を引き下げて固定する。

取付金具の外しかた

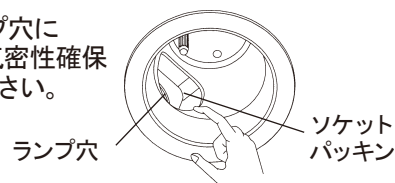


5 本体に反射板を取り付ける

- ①反射板から枠パッキンが外れていないことを確認する。
- ②本体の角穴と反射板の凸部を合わせる。
- ③ボルトに反射板の穴を通して袋ナットで確実に締め付ける。



※ソケットパッキンがランプ穴に引っ掛かった場合は、気密性確保のため、押し込んでください。



6 ソケットにランプを取り付ける

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 点灯直後約 10 分間は、明るさや光色が若干変化します。
- 周囲温度が低い場合、明るくなるまでに時間がかかります。
- 周囲温度の違いにより、明るさや光色が若干変化します。
- ランプのプラスチック部分は使用していると変色する場合がありますが、性能には影響がありません。

【周囲の影響】

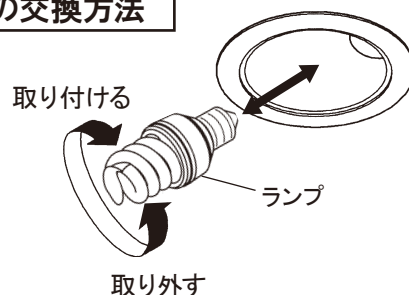
- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅を繰り返すとランプの寿命です。ランプを交換してください。
- パナソニック製ランプをお買い求めください。種類が同じで光色の異なるランプも使用できます。
- ランプの種類は器具に表示しています。白熱灯は使用できません。

ランプの交換方法



お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6ヵ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz 共用	17W	D25 形パルックボールプレミアム蛍光灯 (E26)

- D25 形パルックボールスパイラル蛍光灯 (E26) も使用できます。
- ランプの光色はランプを参照ください。